

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

安定した多台数同時接続を実現する無線LAN環境で「Google for Education」のサービスをフル活用。授業改善にとどまらず、課外活動へのICT活用が生徒の主体性を育てることに貢献。

静岡県立掛川西高等学校 様

静岡県立掛川西高等学校(以下、掛川西高校)では、平成30年3月に以前から導入されていた68台のタブレットを授業に活用するため、全校生徒と全教員を対象に「Google for Education」のアカウントを取得。Googleが提供する様々なサービスを活用するためのネットワーク設備として、すべての教室に無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」を設置しました。授業のみならず課外活動も含め学校生活環境全般的のICT化に取り組んでいます。



静岡県立掛川西高等学校 ICT推進委員長 吉川牧人氏(以下、吉川教諭)

目標としていた授業を実現するために、県教委と何度も協議

掛川西高校は平成28年度に「静岡県グローバルハイスクール」の研究指定を受け、静岡大学との連携による英語4技能統合型授業の研究を開始しました。また研究用のツールとして、新たにプロジェクター(10台)、Apple TV(10台)、無線LANアクセスポイント(3台)とiPad(55台)などのICT機器が導入されました。それらの管理・運用方法を検討することが、今回のICT導入のきっかけになったといえます。ちょうど平成29年度に向けて校舎の改修計画が進んでおり、それに合わせて無線LANなど情報インフラの施工も実施することになりました。

選定の決め手は、多台数同時接続時の安定性と管理のしやすさ

無線LAN導入に際して最も重要視したのは、つながりやすさ、通信の安定性だったと吉川教諭は話します。「私たちが目標としていた形式の授業とは、1人1台もしくは1グループ1台にタブレットを配布し、動画サイトやGoogle Earthなどのリッチコンテンツを活用したアクティブ・ラーニング授業です。その実施には、大きな通信負荷に耐えられる性能を持つ無線LANアクセスポイントが必要です。バッファローの『WAPM-2133TR』を選んだ一番の理由は、そういう使い方を予め想定して開発された製品だということですね。1台の『WAPM-2133TR』に接続された80台のタブレットで一斉にネットワーク上の動画をバラつきなく再生する検証動画もバッファローから公開されていますし、先進校での導入実績も多数あったので、安心して選びました。また、仕様書を作っていくうちに、管理の

しやすさが重要だということもわかってきました。バッファローの製品はパソコンにインストールしたネットワーク集中管理ソフトウェア『WLS-ADT』から一元管理ができることも大きなポイントでした。国内・海外の他社製品やバッファローの下位モデル等も含め比較検討した上で、この機種が一番だと考えました。」(吉川教諭)

自分で情報を集めて、読み取り、選別する力を身に付ける

吉川教諭が担当している世界史では、1クラスを4~5人のグループに分けて、グループ学習を実施しています。無線LAN導入後は、各グループに2台ずつのタブレットを活用しながら、アクティブ・ラーニングとICTを融合した授業に取り組んでいます。

「これまでの講義形式の授業ではなく、生徒が主体の学習を行うことで、自分で情報を集めて、それを読み取り、選別する力を身に付けさせたいと考えています。」(吉川教諭)

プロジェクションマップイベントを通して、ICTの様々な活用を体験

掛川西高校では授業だけではなく、課外活動へのICTの活用も積極的に行っています。生徒が作成した動画を城壁へ投影する「掛川城プロジェクションマッピング」もその一環です。

「当校が掛川城のすぐ隣にあることから、天守閣の城壁や本丸広場の斜面などを使ったプロジェクションマッピングのイベントを開催しようということになりました。生徒たちが有志で実行委員会を作り、外部講師の指導を受けながら、約2ヶ月かけて準備をしました。講師とのやりとりにはビデオ会議



平成29年12月23日に開催された「掛川城プロジェクションマッピング」には、地元住民をはじめ1000人以上が訪れ、映像と光の演出を楽しんだ

アプリを、実行委員同士の情報共有にはメッセージアプリを使い、動画製作以外の部分でもICTを活用。さらにSNSで活動の様子を公開するなど、広報活動にも積極的にICTを活用しました。イベント当日は1000人以上の方にご来場いただき、この活動はマスコミにも取り上げられ、活動をまとめた動画は『しずおか学生動画アワード2017』でグランプリを獲得しました。」(吉川教諭)

無線LANと『Google for Education』の活用でイベントの準備を効率化

掛川城プロジェクションマッピングは好評を博し、平成30年2月・3月にも開催することになりました。またダンス部の3月公演でも演出を行うことになり、引き続き製作に取り掛かりました。

「製作のタイミングとおなじくして無線LANの設置工事が完了し、第2弾の製作は無線LANとタブレットの活用で、より効率的に準備を進めることができました。『Google for Education』の運用を開始したのですが、これが大変役に立ちました。グループで役割分担し、共同作業で作品を制作したのですが、作業ファイルをGoogleドライブで共有することで、無線LANにつながっている校内どこでもグループ間で作業の受け渡しができます。プロジェクションマッピングに使う動画ファイルは容量も大きく、安定した無線LAN環境がなければこのような活用はできなかったでしょう。」(吉川教諭)

導入製品



エアステーションプロ インテリジェントモデル
11ac/n/a & 11n/g/b 同時使用
法人向け 無線LANアクセスポイント
WAPM-2133TR



無線LANシステム
集中管理ソフトウェア
WLS-ADT

株式会社 **バッファロー**

ホームページでさらに詳しい情報を発信中

buffalo.jp/jirei



0041

検索

バッファローホームページの検索窓にナンバードを入力し、検索ボタンをクリックしてください

※掲載されている各製品名は一般に各社の商標または登録商標です。※デザイン・仕様等は改良のため予告なしに変更する場合があります。※記載されている価格は希望小売価格です。